

教科書検討の観点からみた特色

※青字の「⇒(P.000)」は教科書のページ数です。

教科書検討の観点	内容の特色	本書の主な関連箇所
⇒取り扱っている内容は、 教育基本法 に適合しているか。 教育基本法第2条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。 第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	我が国の歴史に関する 基礎的・基本的な知識・技能 を確実に習得し、 歴史に関わる事象を多面的・多角的に考察する態度 を育てることで、 幅広い知識と教養を身に付け るとともに、私たちの今と将来を明るく豊かなものとするために歴史に学ぶことができるようにしている。 ◆第1編「 私たちと歴史 」では、小学校で学んだ歴史上の人物を振り返る学習活動を通して、 歴史的な見方・考え方を働かせた歴史の学び が身に付けられるように構成されており、生徒が中学校の歴史学習の特色を理解して各時代の学習に取り組んでいけるよう配慮されている。 ◆第2～6編の各時代の学習では、学習のめあてを明らかにし、見通しを立てて、学習に取り組むことができるように 導入 で工夫が図られている。 本文 は十分な文字量を確保して、 平易な表現で歴史の流れや因果関係が丁寧に叙述 されている。 ◆ 導入 に対応する まとめ では、 習得した知識を活用して時代の特色をとらえる ことをねらいとした学習活動が設けられている。 ⇒学習の整理と活用 (P.62-63, 104-105, 156-157, 218-219, 258-259, 296-297) ◆各時代に設置された チャレンジ歴史 では、資料の読み取りから、生徒に 選択・判断 させるものまで 発達の段階に応じた教材を掲載 しており、 主体的・対話的で深い学びの実現 が図られている。 ⇒チャレンジ歴史 (P.34-36, 74-75, 136-137, 216-217, 254-255)	⇒P.6-7 ⇒P.8-11 ⇒P.10-11 ⇒P.12-13
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、 勤労を重んずる態度 を養うこと。	意欲的に学習に取り組めるように、学習のねらいを明確にし、 歴史的な見方・考え方を働かせて思考力・判断力・表現力等の向上 を図りながら、 学習の成果を実感できる構成 になっているとともに、 職業および生活と歴史との関わり を知り、 勤労を重んずる態度 を育てることができるようになっている。 ◆本文ページには 歴史的な見方・考え方を示すコーナー や 思考力・判断力・表現力等の向上 を図るコーナーを設け、生徒が意欲的に学習に取り組み、 主体的・対話的で深い学び を実現できるようにしている。 ◆産業を支えた先人の取り組みや文化財の修理に取り組む現代の人々の仕事を取り上げ、 勤労を重んずる態度 を養えるよう配慮されている。 ⇒歴史を掘り下げる (P.58-59) ⇒先人に学ぶ (P.140) ⇒地域に学ぶ (P.211, 237)	⇒P.8-9 ⇒P.16,29
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	人権尊重、男女共同参画 などについての歴史に関わる事象が豊富に取り上げられているとともに、 協調して取り組む学習活動の場面 では、責任をもって自分の考えを伝え、他者の考えを認め、他者を敬う態度を身に付け、 社会の一員としての自覚 を培えるようになっている。 ◆今日の基本的な人権は、先人の多年にわたる努力の成果として獲得されてきたものという観点から、 人権に関わる内容は、歴史的な経緯と現在の取り組みを記述し、人権を尊重することの大切さを学ぶ ことができるよう配慮されている。 ◆民主政治の来歴や政治体制の変化、 人権思想の発達や広がり を学習することで、 社会形成への参画 を求めた先人の取り組みを知り、 主権者としての自覚 を培うことができるよう配慮されている。 ◆現代の諸課題について、それが起こった 歴史的な背景や課題 に対する先人たちの取り組みを知り、生徒が歴史を踏まえて よりよい未来の実現に向けて構想し、社会の形成に主体的に参画しようとする態度 を養えるよう配慮されている。 ⇒「歴史との対話」を未来に活かす (P.298-305)	⇒P.31 ⇒P.21 ⇒P.14-15, 21
第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	防災・減災、資源・環境、生命の尊さ などに関わる先人の働きを積極的に取り上げている。歴史に学び、そこから自分たちの生き方に活かしていく態度や、 生命や自然を大切に する態度を育てることができるようになっている。 ◆災害に関する教材や課題学習を掲載し、 防災・減災を考える態度 を養えるよう配慮されている。 ⇒先人に学ぶ (P.149, 291) ⇒「歴史との対話」を未来に活かす (課題例/P.300-301) ◆環境問題や公害克服のために活躍した先人たちの取り組みを掲載し、 環境の保全に寄与する態度 を養えるよう配慮されている。 ⇒先人に学ぶ (P.154-155) ⇒チャレンジ歴史 (P.216-217) ⇒でかけよう! 地域調べ (P.294-295) ◆生命の尊さに関わる教材を掲載し、 かけがえのない生命を尊重する態度 を養えるよう配慮されている。 ⇒先人に学ぶ (P.215, 247) ⇒「歴史との対話」を未来に活かす (課題例/P.304-305)	⇒P.28 ⇒P.29 ⇒P.30
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	我が国の 伝統と文化の特色 を広い視野に立って考え、 国際平和の実現 に向けて、理解を深めることができる内容を豊富に取り上げ、自分たちの住む 身近な地域や我が国を愛する心、他国を尊重する態度 を育てることができるようになっている。 ◆各時代の 文化の特色を当時の社会の様子と関連させて理解 するとともに、 我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっている ことを考えることができるようになっている。 ⇒文化史の学習 (P.48-51, 54-56, 78-81, 92-93, 98-101, 122-123, 132-133 など) ◆日本の領土について、 北方領土や竹島・尖閣諸島を領土に編入した経緯 を丁寧に解説し、 日本固有の領土であることを明記 している。また、 平和的な問題解決への取り組み をわかりやすく解説している。 ⇒本文ページ (P.190-193, 208-209, 265, 273, 290) ⇒歴史を掘り下げる (P.37, 292-293) ◆戦争の悲惨さや、二度の世界大戦後に 国際連盟や国際連合が設立 され、 国際平和への努力 がなされたことなどを学び、 平和な国際社会の実現に向けて考える ことができるよう配慮されている。	⇒P.22-27 ⇒P.30 ⇒P.30
⇒取り扱っている内容は、 学校教育法 に適合しているか。	◆学校教育法第30条第2項に示された「 基礎的な知識及び技能の習得 」、「 課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力の育成 」、「 主体的に学習に取り組む態度の育成 」が重視されている。	⇒P.6-17

教育基本法及び学校教育法との関連

教科書検討の観点	内容の特色	本書の主な関連箇所
⇒取り扱っている内容は、 学習指導要領 に示す目標・範囲に適合しているか。	◆ 学習指導要領 に準拠し、 基礎的・基本的な知識・技能の定着 を図り、 各時代の特色を踏まえて、我が国の歴史の大きな流れを理解 するとともに、 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせながら課題 を追究したり解決したりする 思考力・判断力・表現力等の向上 を図る学習を通して、 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成 する内容になっている。	⇒P.6-17
⇒ 道徳教育との関連 から、取り扱う内容はどのようになっているか。	◆教科書全体が 個人の尊重の考え方を基本理念 として構成されており、取り上げられている教材は、 人権尊重・男女共同参画 などの観点から適切に選択されている。 ◆ 主権者の育成 という観点から、 民主政治の来歴や、現代につながる政治制度や人権思想の広がり についての学習が充実しており、 社会参画への関心や意欲、持続可能な社会の形成 に参画する態度を養えるようにしている。	⇒P.31 ⇒P.21
⇒ 基礎的・基本的な知識・技能 の確実な定着を図るために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆本文は原則1授業時間=見開き2ページとし、この見開きで何を学ぶのが 学習課題 で明確に示されている。また、右ページの側注欄には 確認コーナー が設けられ、 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着 をねらいとした 学習活動や自分の考えを説明 させる問いが提示されており、 習得した知識・技能を用いて文章化・言語化 できるようにしている。 ◆ 本文 は、十分な文字量を確保し、 平易な表現で、歴史の流れや因果関係を丁寧に叙述 している。 ⇒P.8-9 ⇒P.6-7 ◆ 見方・考え方コーナー を設け、 学習課題の解決 に向けての手がかりとなる 歴史的な見方・考え方の例 を示している。 ⇒P.8-9 ◆見開きページの右端には、 時代・世紀のスケール を設け、学習している時代や世紀を前後の時代も含めて常に確認できるように工夫している。 ⇒P.8-9 ◆歴史の学習を豊かなものにするために、 歴史+α、先人に学ぶ、地域に学ぶ (コラム)を設置し、 幅広い視点から学習 できるように工夫している。 ⇒P.8-9,16 ◆資料を用いた活動を示す 資料活用コーナー を設けており、 必要な情報の読み取りなどの技能 を高めることができる。 ⇒P.8-9,22 ◆側注欄に設けた 基本用語コーナー では、 歴史を理解 する際に重要な用語を解説しており、生徒がすぐに確認できるようになっている。 ⇒P.8-9 ◆教科書内で関連する事項どうしを結び付ける 参照ページコーナー で、 多面的・多角的な見方 をすることで、 学習内容の定着 を図っている。 ⇒P.8-9 ◆ 連携コーナー では、 小学校社会科の学習や地理的分野・公民的分野の学習 とのつながりが示され、 生徒の理解を確かなものにする とともに、 習得した知識を活用 できるようにしている。 ⇒P.8-9,36 ◆側注欄などを利用して、 小年表・小地図 を適所に掲載し、 歴史に関わる事象の流れや起きた場所 がすぐに確認できるようにしている。 ⇒P.8-9 ◆ スキルUP によって、 社会的事象等について調べ・まとめる技能 を身に付けることができるようにしている。 ⇒P.17	
⇒ 思考力・判断力・表現力等の向上 を図るために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆ 学習課題 の理解を深めるため、 歴史的な見方・考え方を働かせる問いを深めようコーナー として設け、 習得した知識を定着させ活用 させることで、 思考力・判断力・表現力等の向上 を図ることができる。 ◆各時代の まとめ では、 習得した知識を関連させて、時代の特色をとらえる ことをねらいとした アクティビティ を設けており、 生徒による主体的・対話的で深い学び への取り組みを支援している。 ⇒P.8-9 ⇒P.11	
⇒ 学びに向かう力・人間性等 を養うために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆現代的な諸課題の 歴史的な背景や解決 に取り組んだ先人の姿を詳しく解説し、 よりよい社会の実現 を視野に課題を 主体的に解決 しようとする態度を養う学習「 歴史との対話 を未来に活かす」が設定されている。ここでは テーマ別さくいんと 、それを活用して取り組む課題例が提示されており、これを参考に、 生徒が自ら選んだ課題学習に取り組む ことができるようになっている。 ⇒P.14-15	
⇒ 歴史的な見方・考え方を習得・活用 するために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆第1編「 私たちと歴史 」では、 歴史的な見方・考え方を働かせた歴史の学び が身に付けられる構成になっており、 本文ページ の学習にスムーズに移行することができるよう工夫されている。 ⇒P.6-7 ◆本文ページには 見方・考え方コーナー を設け、その見開きの 学習課題の解決 に向けた手がかりとなる 歴史的な見方・考え方の例 を示している。 ⇒P.8-9	
⇒ 歴史的な見方・考え方を働かせた主体的・対話的で深い学び を実現するために、どのような 創意・工夫 をしているか。	◆複数の資料をもとに、 歴史について自分で考えたり、対話したりして歴史を学ぶ面白さ を体験できる チャレンジ歴史 を設けている。第2編から第5編第2章までの各編(章)の一つずつ設置しており、 発達の段階に合わせて、主体的・対話的で深い学びを実現 できるようにしている。 ⇒P.12-13 ⇒チャレンジ歴史 (P.34-36, 74-75, 136-137, 216-217, 254-255)	
⇒図版は、 生徒の興味・関心 を喚起するもので、 かつ読み取りやすいもの に工夫されているか。	◆図版は、 本文との関連が的確で、時代像を具体的にイメージ できる資料が豊富に掲載されている。 実物大資料が多数掲載 されているほか、 資料を読み取る活動 が設定されており、 生徒が楽しく歴史を学びながら資料活用能力の向上 も図れるように工夫している。 ⇒P.22-27	
⇒ 歴史に関わる事象の選択 は、どのようになされているか。	◆ 学習指導要領 の趣旨に基づいて、 各時代の特色や時代の転換 に係る 基礎的・基本的な歴史 に関わる事象を 重点的に取り上げ 、 我が国の歴史の大きな流れ を的確におさえられるように、 学習材を厳選 している。 ⇒P.6-17, 44	
⇒ 歴史上の人物 について、どのよう に選択され位置づけ られているか。	◆本文では、 我が国の先人たちが努力を積み重ね、社会や文化を発展 させ、 生活を豊かに してきた 歴史的過程 を理解できるように記述している。また、 先人に学ぶ、地域に学ぶ などの特設ページやコラムにおいても、 問題解決 に取り組んだ先人の姿を具体的に紹介している。 ⇒P.16 28-31 ⇒先人に学ぶ (P.5に一覧を掲載) ⇒地域に学ぶ (P.5に一覧を掲載)	

創意と工夫

内容の選択

	教科書検討の観点	内容の特色	本書の主な関連箇所
内容の選択	⇒各時代の文化にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆文化史については、原則3, 4ページ構成にして代表的な事例を豊富に、大きく取り上げるようにしている。また、網羅的な取り扱いにならないように配慮している。各時代の文化を我が国の歴史の大きな流れと諸外国との交流のなかで学び、その特色を広い視野から考えられるようにしている。また、琉球・アイヌの文化に関する取り扱いも充実させている。 ⇒文化史の学習 (P.48-50, 54-56, 78-81, 98-101, 142-145, 150-153 など) ⇒琉球の文化 (P.92-93) ⇒アイヌの文化 (P.132-133) ◆我が国の国宝や史跡、世界遺産などを豊富に紹介している。さらに、文化財の保護・継承に大きな役割を果たした先人や現在の取り組みも紹介して、受け継がれてきた伝統や文化を大切に思い、引き継ぐ態度を養おうとしている。 ⇒チャレンジ歴史 (P.34-36) ⇒歴史を掘り下げる (P.58-59) ⇒先人に学ぶ (P.79, 189)	⇒ P.22-27, 45 ⇒ P.29
	⇒我が国の歴史の背景にある世界の歴史とその関連について、どのような工夫があるか。	◆グローバル化する国際社会をふまえて、我が国の歴史の背景となる世界の歴史の記述が充実している。また、各編・章の導入に地図で見る世界の動きをおき、世界のような動きを概観して学習を始め、世界の動きのなかで日本の歴史をとらえることができるように単元が構成されている。 ⇒地図で見る世界の動き (P.16-17, 66-67, 110-111, 160-161, 222-223, 262-263)	⇒ P.10-11, 20-21
	⇒持続可能な社会、持続可能な開発目標 (SDGs) の実現にむけて、現代的な諸課題にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆今日の私たちに保障されている基本的人権は、先人の多年にわたる努力の成果として獲得されてきたものという観点から、部落差別のほか、女性・アイヌ・在日外国人などの基本的人権に関わる内容は、歴史的な経緯と現在の取り組みを本文で丹念に記述している。女性史コラムが設定され、各時代の女性の姿を紹介するなど人権に関する教材を充実させている。 ⇒女性史コラム (P.5 に一覧を掲載) ◆環境問題や環境保全については、はげ山対策など先人の取り組みを紹介しているほか、国内の産業の発展と公害などの環境破壊の問題を結びつけて考えることができる構成になっている。 ⇒先人に学ぶ (P.154-155) ⇒チャレンジ歴史 (P.216-217) ⇒でかけよう！地域調べ (P.294-295) ◆災害に対する先人の取り組みを学び、現代社会では、どのような防災・減災への取り組みができるのかを考える態度を養おうとしている。 ⇒先人に学ぶ (P.149, 291) ⇒「歴史との対話」を未来に活かす (課題例／P.300-301) ◆世界の平和をめざした先人の取り組みや平和に向けた国際的な活動を取り上げ、国際協調の精神を養えるように教材を位置づけて、平和や国際理解をめざして行動する態度を培おうとしている。 ⇒本文ページ (P.286-287, 290-291) ⇒「歴史との対話」を未来に活かす (課題例／P.304-305)	⇒ P.31,45 ⇒ P.29,45 ⇒ P.28,45 ⇒ P.30,45
	⇒我が国の国土と歴史への理解と愛情にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を育てるとともに、地域に学ぶ (コラム) が設置され、地域の具体的な事例との関わりをのなかで我が国の歴史を理解させようとしている。また、取り上げられた事例は、その調べ活動を通して、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高めるとともに、我が国の歴史について理解と愛情を深めることができるように構成されている。 ⇒でかけよう！地域調べ (P.60-61, 102-103 など) ⇒地域に学ぶ (P.5 に一覧を掲載) ◆日本の豊かな自然環境の中で生まれた人々の信仰や、日本国号・天皇号の始まりなどを考古学の成果を活用しながら具体的に説明している。 ⇒歴史 + α (P.33, 43) ⇒歴史を掘り下げる (P.51) ◆日本の領土について、北方領土や竹島・尖閣諸島を領土に編入した経緯を丁寧に解説し、日本固有の領土であることを明記している。また、平和的な問題解決への取り組みを解説するほか、現代とは異なる前近代の国際秩序を紹介するなど、現代の課題を広い視野からとらえられる構成になっている。 ⇒本文ページ (P.190-193, 208-209, 265, 273, 290) ⇒歴史を掘り下げる (P.37, 292-293)	⇒ P.16,45 ⇒ P.23 ⇒ P.30,45
	⇒東京 2020 オリンピック・パラリンピック、大阪・関西万博にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆東京 2020 オリンピック・パラリンピック及び 2025 年開催の大阪・関西万博について十分に取扱いしており、近代オリンピックの理念や日本の関わりなどを学ぶことができるようになっている。 ⇒本文ページ (P.260-261, 279) ⇒歴史を掘り下げる (P.280-281)	⇒ P.20
	⇒我が国の歴史の大きな流れをつかむのに、効果的な組織・配列になっているか。	◆各時代の学習では、導入で学習のめあてを明らかにし、学習の見通しを立てられるよう配慮している。また、第 2 編から第 5 編第 2 章までの各編 (章) に一つずつ設置されたチャレンジ歴史で歴史について自分で考えたり、対話したりする学習活動ができるようになっている。さらに導入に対応するまとめでは、習得した知識を活用してその時代を大観し、時代の特色を大きくとらえることを目的とした学習活動を配置している。この構成を原始・古代から現代まで一貫させることで、時代の特色を踏まえて我が国の歴史の大きな流れを理解できるようにしている。	⇒ P.10-13
⇒配列や分量は適切か	◆全体を「私たちと歴史」「古代までの日本と世界」「中世の日本と世界」「近世の日本と世界」「近代の日本と世界」「現代の日本と世界」の 6 編構成とし、詳細な学習に陥ることがないように、学習内容の構造化と焦点化を図っている。115 時間の授業時数で学習が完結できるようにしており、これは、学習指導要領が示す歴史的分野の授業時数 135 時間からいって妥当な分量である。	⇒ P.6-7, 10-11, 44	
内容の程度	⇒小学校社会科との連携や、生徒の発達の段階に対して、どのような配慮がなされているか。	◆第 1 編や各時代の導入の年表、本文ページ脚注の連携コーナーにおいて、小学校で学んだ人物・文化遺産などを再確認できる構成にしている。生徒が、既習事項をふまえて、スムーズに中学校の歴史学習に移行できるように工夫している。 ⇒導入の年表 (P.16, 66, 110, 160, 222, 262) ⇒連携コーナー (小学校社会科／P.30, 40, 42, 49, 54, 56, 70 など) ◆生徒に思考・判断・表現等の向上を図る活動では、空欄への記入や自由記述などについて、発達の段階を考慮した配列となっている。語句記入の基礎問題については教科書の巻末に解答例が掲載されており、生徒が自ら確認できる配慮がある。	⇒ P.6-7, 10-11 ⇒ P.12-13

	教科書検討の観点	内容の特色	本書の主な関連箇所
内容の程度	⇒地理的分野や公民的分野との連携について、どのような配慮がなされているか。	◆本文ページ脚注の連携コーナーにおいて、生徒が地理や公民の学習に関わる事項を確認、活用することができる。 ⇒連携コーナー (地理・地図帳・公民／P.20, 26, 76, 94, 112, 164, 266 など) ◆地理的分野との連携では、地図を多用して、空間的な見方から史実を的確にとらえる能力を育成しようとしている。公民との連携では、「歴史との対話」を未来に活かす」などで現代社会の諸課題について、その歴史的背景を明らかにし、公民的分野の学習につなぐように構成している。 ⇒「歴史との対話」を未来に活かす (課題例／P.300-305)	⇒ P.36-37 ⇒ P.14-15
	⇒カリキュラム・マネジメントについて、どのような配慮がなされているか。	◆学校ごとの生徒の姿や地域の実情に合わせ選択・活用できるように各種の教材が設けられている。 ◆「でかけよう！地域調べ」、地域に学ぶなどのなかで博物館の見学の仕方や施設職員へのインタビューなどを紹介し、社会と連携・協働しながらよりよい社会を創るために必要な資質・能力の育成に参考となる事例が充実している。	⇒ P.17
	⇒学習の深化と発展、生徒の家庭学習に対して、どのような配慮がなされているか。	◆デジタルマークを設け、発行者のウェブサイト上で公開している動画や資料、ワークシート等の教材に生徒が主体的にアクセスできるようにしている。 ◆深めよう、アクティビティ、資料活用など、随所に問いや活動を設けて、生徒が主体的に学習を行うための教材やシンキングツールなどを豊富に紹介している。 ◆単元末の学習の整理と活用では、学習を振り返るとともに各時代の特色を考えることができるアクティビティが設定されている。記述欄が設けられ、自学自習・自己評価にも対応している。 ◆巻末の歴史学習の基礎資料のほかには、人名・事項・テーマ別 (政治、経済・社会、文化、外交) のさくいんを設置し、生徒の主体的な学習をささえる基礎資料が充実している。 ⇒さくいん (テーマ別／P.298-299, 人名・事項／P.311-317)	⇒ P.9,12, 32-33 ⇒ P.9,11 ⇒ P.11 ⇒ P.14
正確性及び表記・表現	⇒文章および図版等の表現は正確か。	◆本文や写真・年表・地図・グラフ・イラスト等の図版類すべてにわたり、内容はもとより、用語の一つ一つまでも細心の吟味を払うとともに、さわめて正確で信頼できるものになっている。	⇒ P.8-9, 34-35
	⇒カラーユニバーサルデザイン (CUD) や特別支援教育への対応や、表記・表現について、どのような工夫や配慮がなされているか。	◆特別支援教育・カラーユニバーサルデザインの専門家の校閲を受け、すべての生徒が等しく情報を読み取ることができるように、配慮が行きわたっている。 ◆本文は、原則 1 授業時間＝見開き 2 ページとなっており、紙面は学習内容を理解しやすいように、授業や生徒の思考の流れに即したレイアウトで構成されている。 ◆見開きページの右端には、時代・世紀のスケールがそえてあり、学習している時代や世紀を前後の時代も含めて常に確認できるように工夫している。 ◆文字は、視認性の高さで実績のあるユニバーサルデザインフォント (UD フォント) を使用している。 ◆本文は平易な文章で、抽象的・網羅的な記述を避けて、具体的に記述している。 ◆漢字の使用は、細心の注意を払い、小学校 6 年生以上で学習する漢字や、固有名詞などは見開き 2 ページの初出にふりがなを付し、読みまちがいのおそれがあるものや人名・地名等については教育漢字であっても極力ふりがなを付して、読み取りやすくしている。 ◆ふりがなは、大きめのゴシック体を使っており、視認性を高める配慮をしている。 ◆重要語句は太字にして、全てふりがなが付されている。ていねいな解説をした側注も充実し、振り返りと広がり意識した参照ページが随所に付され、内容理解の促進が図られている。 ◆図版には番号を付すとともに、本文にも関連する図版番号を添えており、本文と図版を関連して読み取らせるようにしている。 ◆時代区分や年代のあらわし方を説明する教科書 P.11 に各時代の色が示され、目次から第 1～6 編、巻末折込年表にいたるまで、時代の色を統一して示すことで、現在、学習している時代がつねにわかるようにしている。 ◆地図・グラフ等の図版類は、カラーユニバーサルデザインに対応した配色にするほか、形や模様、線の種類など、色以外の情報でも識別できるように配慮している。	⇒ P.34-35, 裏表紙 ⇒ P.8-9 ⇒ P.9 ⇒ P.34 ⇒ P.34 ⇒ P.34 ⇒ P.34 ⇒ P.34 ⇒ P.35
	⇒装丁にはどのような工夫がなされているか。	◆表紙の装丁は、歴史的分野の学習内容に即した世界的にも重要な文化財などの写真や、教科書中に登場するキャラクターのイラストを配置している。歴史と現在、先人と私たちとのつながりを想起させて親しみやすく、かつ生徒の学習意欲を喚起するものとなっている。	⇒表紙
	⇒大きさ・判型について	◆見開きページの情報量を充実させるため、ワイドな AB 判が採用されている。	⇒ P.8-9
	⇒耐久性や人や環境への配慮がなされているか。	◆製本は、堅牢なあじろ綴じを採用し、針金綴じよりも大きく開き、かつ閉じにくい本になっている。また、良質で軽い紙を使用して重量をおさえるとともに、十分な強度で裏写りが少なくなるよう配慮され、表面も汚れを防ぐよう加工している。 ◆印刷は、植物油インキを使用している。また、製本には化学物質過敏症の原因物質は使用せず、再生紙を使用して人体や環境への影響を少なくしている。	⇒ P.35
	⇒拡大教科書について	◆本文が 18, 22, 26 ポイントの 3 種類の拡大教科書の発行が予定されている。	⇒ P.35
⇒デジタル教科書・教材について	◆教科書と同一の内容を収録し、拡大・リフロー、機械音声読み上げ、色の反転・配色設定、総ルビ表示等の特別支援にも効果的な機能をもつ学習者用デジタル教科書や、動画・アニメーション表示などの豊富なコンテンツを収録した指導者用デジタル教科書 (教材)、学習者用デジタル教科書 + 教材の発行が予定されている。	⇒ P.48-49	
印刷・製本・その他			